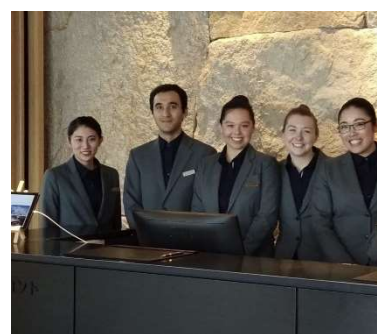




名 前：佐々木 菜那さん
所 属：北星学園大学短期大学部 2年（※参加当時）
インターン先：HTM(株) (Skye Niseko)
参加プログラム：ウィンタープログラム（6期生）

Q 1. インターン先ではどんな仕事を体験しましたか？

私はスカイニセコでベル・フロントデスクスタッフとして働きました。ピーク時は主にお客様のお荷物をお部屋まで運んだり、ウェルカムメールなどを英語や日本語で宿泊予定のお客様に送ったり、タクシーの手配をしたりなど様々なお仕事をさせていただきました。シーズンが落ち着いてくると、日本人のお客様からのお問い合わせも多くなり日本人のお客様のチェックイン業務のお手伝いや、お客様とスタッフの簡単な通訳等もしました。



フロントの皆さんと

Q 2. 職場の雰囲気はどうでしたか？

スカイニセコでは日本人のスタッフの数がとても少なく、本当に海外で仕事をしているかのようでした。様々な国からスタッフが来ていたので英語のアクセントに慣れるまでは少し大変でした。フロントとベルスタッフとして働かせて頂いたので、ホテル内外でも多くの方とコミュニケーションを取ることで、ビジネスシーンで使う日本語や英語を学ぶことができました。

また、外国人の仕事に対する意識や、日本人のお客様と外国人のお客様の求めるものの違いに戸惑うこともありましたが、その中でどのように日本らしさを残し、かつ外国人スタッフやお客様にも理解してもらえるかなど、とても学ぶことが多い職場でした。

Q 3. 寮、その他生活環境はどうでしたか？



（仕事終わりに）

私は最初、倶知安の街の方で寮を4人でシェアしていました。街の方だったこともあり、スーパーなども近くとても便利でした。また、シーズン中はHTMの社員シャトルバスを利用することができ、本数も多かったことでとても良かったです。ハウスメイトはオーストラリア人2名と日本人1名でシェアしていました。ヒラフの方に引っ越しをした際は、会社のシャトルバスもなくなってしまい、ローカルバスの本数も少なかったため、交通の面では不便だなと感じました。ヒラフエリアには多くの外国の方がいらっしゃるのとお友達になれる機会も多くあり、コミュニティも広がりました。

Q 4. これから応募する人に向けたアドバイスをお願いします! ShiriBeshi

私が実際にニセコで働いてみて感じたことは、思っていた以上に外国だったということです。お仕事柄、様々な場所に連絡をした際も、英語での対応でした。最初は自分の英語力に不安はありましたが、お仕事や生活を通して、英語の丁寧な言い回しやビジネス英語を学ぶことができ、ビジネスシーンでの日本語も上達するとおもいます。(笑) 未知の世界で不安になることもあるとは思いますが、終わった後には自信に変わるとおもいます。少しでも興味があれば是非応募してほしいと思います!!

☆佐々木さんがインターンした企業はこちら☆

HTM 会社名 HTM (株)
URL www.htmniseko.com
HOKKAIDO TOURISM MANAGEMENT